

非常時給電システムが使用できない 主な原因と対処法

1 ブレーキペダルを踏みながらパワースイッチを操作している

ブレーキペダルから足を離してパワースイッチを押してください。

2 パワースイッチがACCになっている

パワースイッチがOFFの状態から、ブレーキペダルを踏まずに、パワースイッチをONにしてください。

3 AC100Vスイッチを押す間隔が長すぎる、または AC100Vスイッチを3回よりも多く押している

AC100Vスイッチは1秒以上間隔を開けずに3回連続で押してください。

4 外気温が高い

車両を日陰などへ移動したり、エアコンを使用するなどして車内温度を下げ、しばらくしてから、パワースイッチをOFFにし、はじめから操作をやり直してください。

5 外気温が低い

しばらく走行したり、エアコンを使用するなどして車内温度を上げ、しばらくしてから、パワースイッチをOFFにし、はじめから操作をやり直してください。

次のページへ

6 電気製品が故障などで作動しない

電気製品の電源プラグを抜き、電気製品自体が故障していないかを確認後、パワースイッチをOFFにし、はじめから操作をやり直してください。それでも作動しない場合は電気製品の取扱説明書を確認してください。

7 消費電力の合計が1500Wを超えている

電気製品の電源プラグを抜き、消費電力の合計が1500W以下になっているか確認後、パワースイッチをOFFにし、はじめから操作をやり直してください。

8 コンセントがショートしている

電気製品の電源プラグを抜き、下記項目を確認後、はじめから操作をやり直してください。

- ピンなどの異物が挿さっていないか。
- 飲料水、雨水、雪などが付着していないか。
- ほこりやごみが付着していないか。

9 非常時給電に関する以下のメッセージが表示された “燃料の残量低下により給電停止しました”

燃料を給油後、再度非常時給電システムを起動することができます。



以上の処置を行っても非常時給電システムが使用できない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。